



ソーラーキットの暮らし方ガイド

お手入れ編

UNI AIR
【ユニエア】

二重通気：SCナビシステム (TS-200)

換気空調：換気システム (SV-20U)

ベース空調

UNI AIR

【ユニエア】

目次

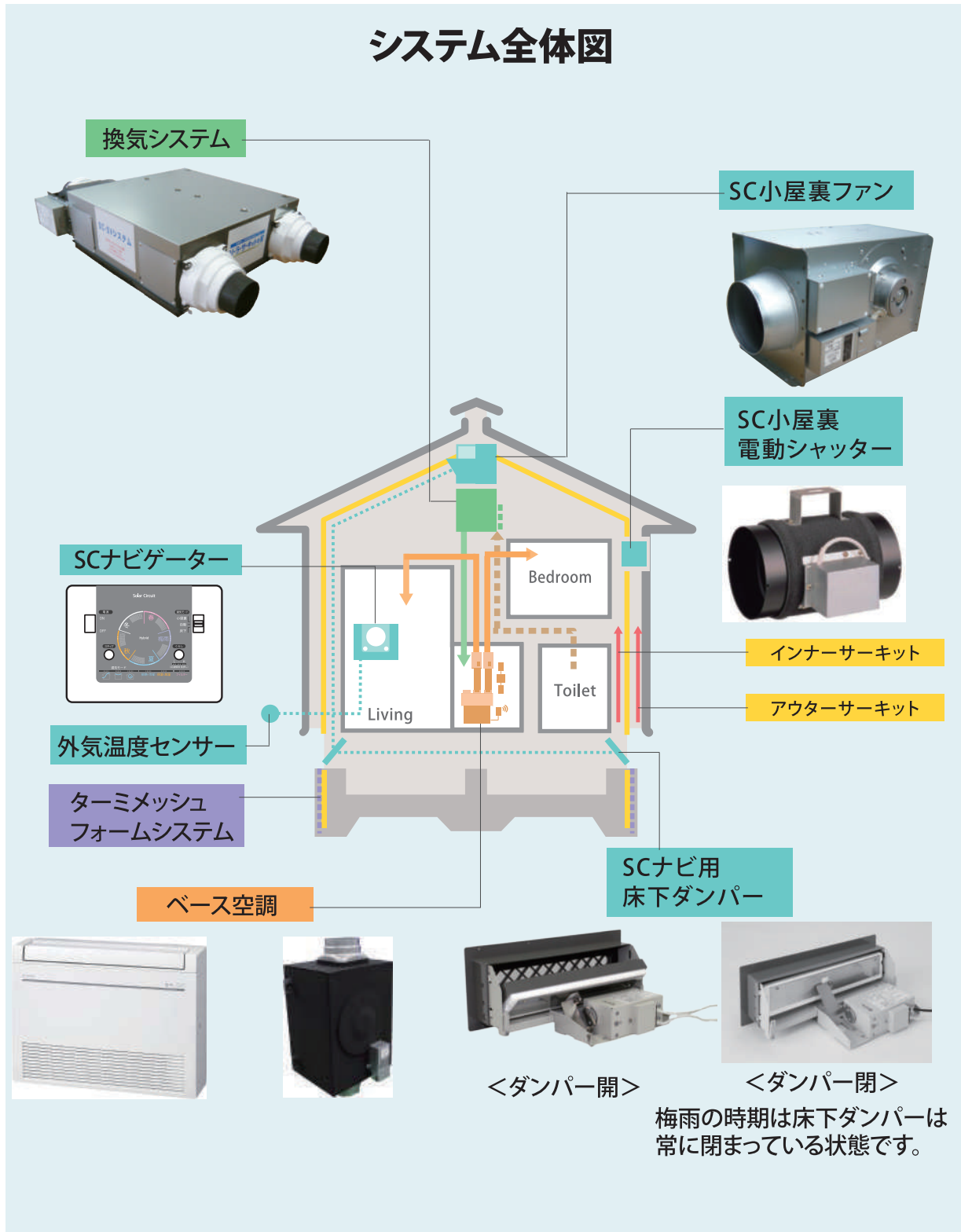
システム全体図	2
換気システム 清掃前の安全のために必ず守ること	3
換気システム お手入れの時期(お知らせ機能)	4
換気システム フィルターボックス・排気グリルの取りはずしかた	5
換気フィルターのはずしかた	6
換気フィルターの清掃のしかた①	7
換気フィルターの清掃のしかた②	8
お手入れ後の組み立てと確認①	9
お手入れ後の組み立てと確認②	10
排気グリルのお手入れのしかた①	11
排気グリルのお手入れのしかた②	12
ベース空調 清掃前の安全のために必ず守ること①	13
ベース空調 清掃前の安全のために必ず守ること②	14
ベース空調 外付けプレフィルターのお手入れのしかた①	15
ベース空調 外付けプレフィルターのお手入れのしかた②	16
ベース空調 前パネルのお手入れのしかた①	17
ベース空調 前パネルのお手入れのしかた②	18
ベース空調 プラチナエアフィルターのお手入れのしかた①	19
ベース空調 プラチナエアフィルターのお手入れのしかた②	20
ベース空調 熱交換器のお手入れのしかた①	21
ベース空調 熱交換器のお手入れのしかた②	22
ベース空調 エアコン内部のクリーニング	23

UNI AIR

【ユニエア】

お客様のご自宅には以下の機器が搭載されています。

システム全体図



換気システム 清掃前の安全のために必ず守ること







UNI AIR 【ユニエア】





安全のために必ず守ること

注意事項

換気の機能を長く維持していただくためには、フィルターに付着したごみや、ほこりを定期的に清掃してください。

以下は誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスが漏れた場合は壁スイッチを入・切しない。(電気接点の火花により爆発する原因) 窓を開けて換気してください。 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vで使用する。(直流や交流200Vを使用すると火災・感電や回路基板の破損の原因) ●異常時(こげ臭い等)は、運転を停止してブレーカーを切る。(異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因) ●外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する。(新鮮な空気を取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因) ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。(感電やけがの原因) ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する。(そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがの原因)
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない。(火災や感電の原因) 		<ul style="list-style-type: none"> ●壁スイッチの24時間換気スイッチを「入」にしても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です。) ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食・破損等がある。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない。(火災・感電・けがの原因) 		<ul style="list-style-type: none"> ●本体取付部に腐食・破損等がある。
 アース確認	<ul style="list-style-type: none"> ●アースが取付けられているか確認する。(故障や漏電のときに感電する原因) アースの取付けは、電気工事店にご相談ください。 		<ul style="list-style-type: none"> ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、工事店へ点検修理を依頼してください。

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの。	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しない。(火災の原因) ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。(転倒などによりけがの原因) ●本体の下には物を置かない。(結露水が滴下することがあります) ●酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には使用しない。(故障の原因) 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する。(間違った電気工事は感電の原因) ●水平に取付けられているか確認する。(水もれにより家屋・家財の損害、落下によりけがの原因) ●長期間使用しないときは、必ずブレーカーを切る。(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因) ●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。(落下によりけがの原因) ●お手入れの際は手袋を着用する。(けがの原因) ●ドレン配管が排水口に取付けられているか確認する。 ●スプレー(殺虫用・整髪用・掃除用)などを本体・壁スイッチ・給排気グリルにかけない。(部品の変質・破損の原因)
 浴室取付禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多いところでは本体を設置しない。(感電およびけがの原因) 		

換気システム お手入れの時期(お知らせ機能)

UNI AIR

【ユニエア】

①壁スイッチのランプが点滅したら 確認



点滅

24時間換気システムの壁スイッチのランプが赤く2秒ごとに点滅し、フィルター清掃の時期をお知らせします。

●壁スイッチのランプが点滅するタイミングは、運転時間（換気運転積算時間）が約6ヶ月経過すると点灯から点滅に変わります。

●0.5秒ごとに点滅している場合は、本体異常をお知らせしています。工務店へ連絡してください。

②フィルターランプが点滅したら 確認



年4回

フィルターランプが点滅してフィルターの清掃を促します。

点滅

フィルター

点滅期間(10日間)

春になる頃	梅雨のなかば
秋が近づいた頃	年末

●フィルターの清掃は6ヶ月に1回以上の清掃となります。

●換気システムの壁スイッチのLED点滅と同じタイミングでフィルターランプを点滅させたい場合は、フィルター点滅間隔が約6ヶ月で設定されている**梅雨**と**年末**に併せて清掃を行っていただくことで、概ね同じ時期にすることができます。

●春と秋のフィルター点滅時期は地域設定により異なります。

換気システム フィルターボックス・排気側フィルターの取りはずしかた

UNI AIR

(ユニエア)

- ⚠ 警告** ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。



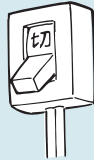
フィルターボックス・排気側フィルター取り外し動画はこちら →

①壁スイッチ・ブレーカーを切る 操作

1. 壁スイッチを「切」にする。
ランプが消灯します。

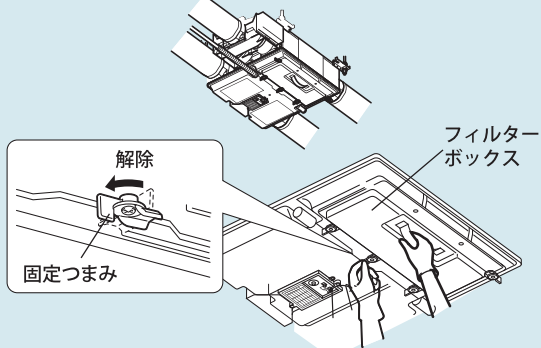


2. ブレーカーを「切」にする。



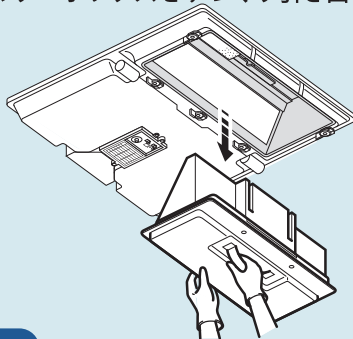
②フィルターボックスを引き出す 分解

1. 換気システム本体下部にある固定つまみ（5か所）を回して固定を解除する。



●取手をしっかり持ち、支えてください。

2. フィルターボックスをゆっくり引き出す。

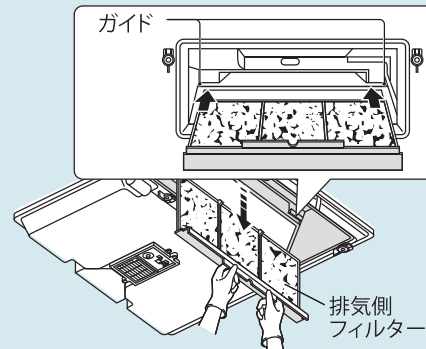
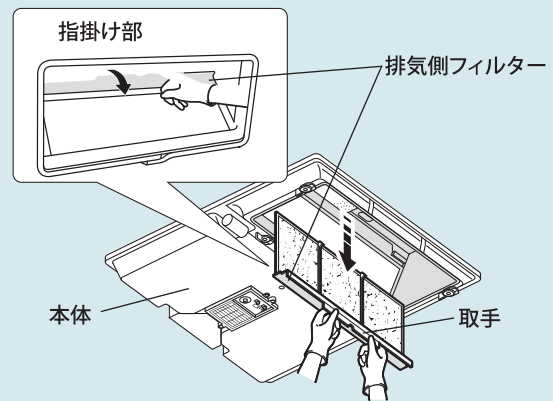


お願い

●内部にほこり・ごみが溜まります。また、使用環境により、結露水が溜まることもあります。こぼれたり、身体にかからないよう注意し、両手でしっかりと支えて傾けないようにはずしてください。

③本体から排気側フィルターをはずす 分解

1. 排気側フィルターの指掛け部に指を掛け、両手で取手をもち、ゆっくり引っ張る。



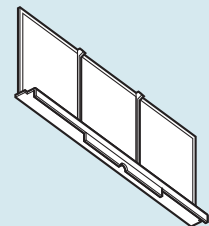
お願い

●排気側フィルターを取りはずす際に、ほこり・ごみが落ちることがあります。目などに入らないよう注意してください。

排気側フィルター

型番：P-50F3

熱交換器の目詰まりを防止します。



換気フィルターのはずしかた

UNI AIR

(ユニエア)

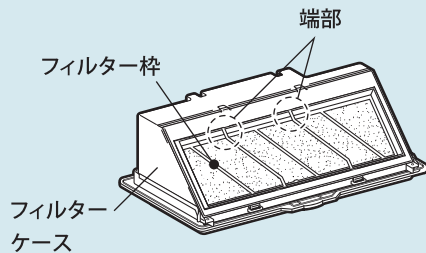
- ⚠ 警告 ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
- お手入れの際は手袋を着用する。



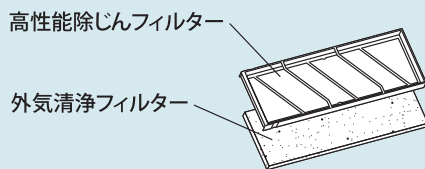
フィルターボックスからフィルターを外す動画はこちら➡

フィルターボックスからフィルターはずす 分解

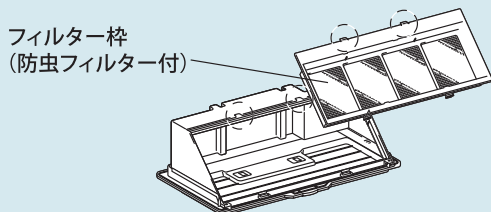
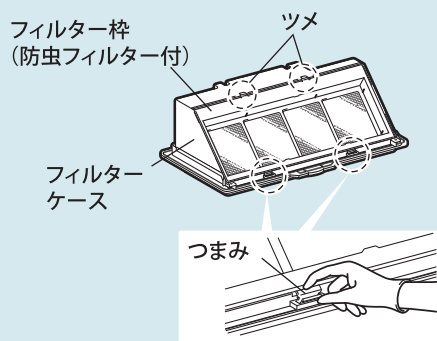
1. フィルター枠の端部をつまみ、フィルターケースからフィルター枠を取りはずす。



2. 外気清浄フィルターを取り出す。



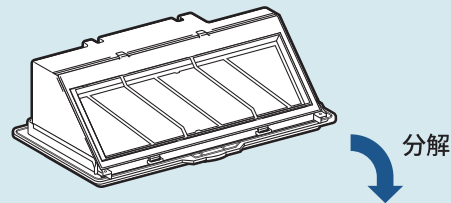
3. フィルター枠（防虫フィルター付）のつまみ（2か所）をつまんで、引き上げ、ツメ（2か所）をはずし、引き出す。



※フィルターボックスの取りはずし方は、5頁「換気システム フィルターボックス・排気側フィルターの取りはずしかた」をご参照ください。

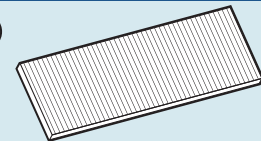
フィルターの説明

参考



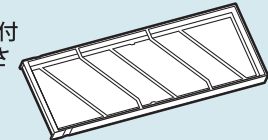
高性能除じんフィルター 型名：P-80HFF3

花粉・ほこりなど（10 μ m以上）を約97%取り除きます。



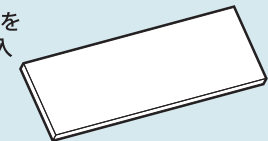
フィルター枠 型名：M36 385 722

高性能除じんフィルターを取付け、外気清浄フィルターを押しさえて、はずれを防止します。



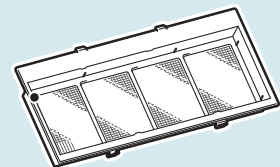
外気清浄フィルター 型名：P-80F3

虫・花粉・ほこりなどの粒子を取り除いて外気を室内に取り入れます。



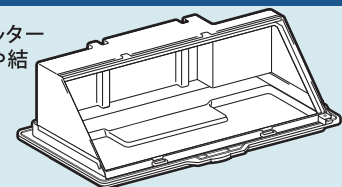
フィルター枠（防虫フィルター付） 型名：M36 385 721

外気清浄フィルターと別売用フィルター枠を取付け、0.5mm以上の小さな虫や粗じんの室内への通過を抑えます。



フィルターケース

フィルター枠（防虫フィルター付）を取付け、ほこりや結露水の落下を防ぎます。



換気フィルターの清掃のしかた①

UNI AIR

【ユニエア】

換気フィルターの清掃は6か月に1回以上お願いします。

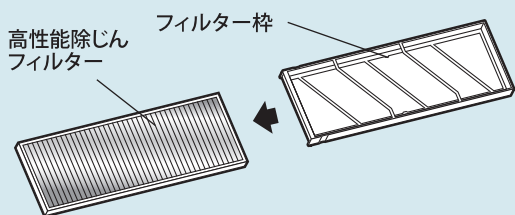
- ⚠ 警告 ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
- お手入れの際は手袋を着用する。

高性能除じんフィルター 清 掃

外気清浄フィルターとの組合せでより細かい粒子を取り除いて外気を室内に取り入れます。

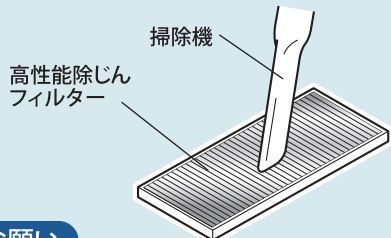
①フィルター枠から取りはずします。

※6頁「換気フィルターのはずしかた」をご参照ください。



②掃除機でほこりを吸いとる

水洗禁止



お願い

- やわらかいものですので破損しないように注意してください。
- 掃除機で破損しないよう注意してください。
- 水洗いは絶対におやめください。
- 交換後（ご使用済み）のフィルターの廃棄については、お客様のお住まいになる地域の処理方法に従い廃棄してください。

③交換時期

2～3年に1回

フィルター種類	型名
高性能除じんフィルター	P-80HFF3



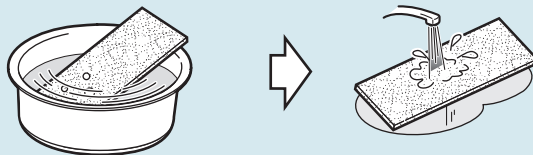
※フィルターボックスの取りはずし方は、5頁「換気システム フィルターボックス・排気側フィルターの取りはずしかた」をご参照ください。

外気清浄フィルター 清 掃

①軽く手でたたか、掃除機でほこりを吸いとる。



②汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）で押し洗いをし十分に乾かす。



お願い

- 破損した場合や、水洗い回数約4回を目安に別売のフィルターと交換してください。
- 交換後（ご使用済み）のフィルターの廃棄については、お客様のお住まいになる地域の処理方法に従い廃棄してください。

③交換時期

水洗い回数 約4回を目安

フィルター種類	型名
外気清浄フィルター	P-80F3



フィルター枠が破損した場合

フィルター種類	型名
フィルター枠（押え）	M36 385 722



換気フィルターの清掃のしかた②

UNI AIR

【ユニエア】

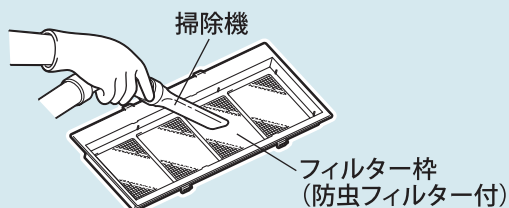
- ⚠️ 警告 ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠️ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

換気フィルターの清掃は**6か月に1回以上**お願いします。

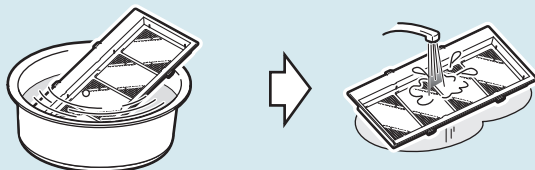
フィルター枠 (防虫フィルター付)

清 掃

- ①軽く手でたたくか、掃除機でほこりを吸い取る。



- ②汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かした水または、ぬるま湯 (40℃以下) で洗い流し、十分に乾かす。



お願い

- 水洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- 熱湯で洗ったり、火気を使用して乾かすことは絶対に行わないでください。また、揮発性の溶剤は絶対に使用しないでください。(変形や破損のおそれがあります)
- 掃除機のノズルなどを強く押し付けしないでください。(破損の原因となります)

- ③交換時期

フィルター枠が破損した場合

フィルター種類	型 名
フィルター枠 (防虫フィルター付)	M36 385 721



排気側フィルター

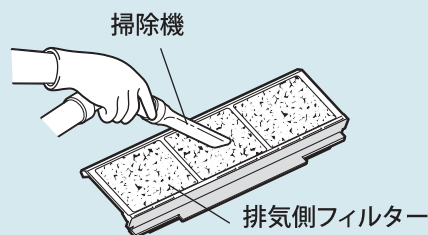
清 掃

- ①排気側フィルターを取りはずします。

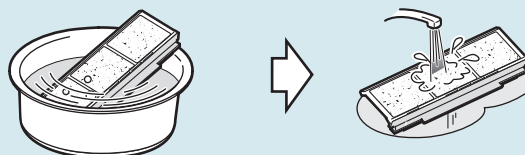
※5頁「排気側フィルターのはずしかた」をご参照ください。



- ②軽く手でたたくか、掃除機でほこりを吸い取る。



- ②汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯 (40℃以下) で押し洗いをし十分に乾かす。



お願い

- 破損した場合や、水洗い回数約4回を目安に別売のフィルターと交換してください。
- 交換後 (ご使用済み) のフィルターの廃棄については、お客様のお住まいになる地域の処理方法に従い廃棄してください。

- ③交換時期

水洗い回数 約4回を目安

フィルター種類	型 名
排気側フィルター	P-50F3



お手入れ後の組み立てと確認①

UNI AIR

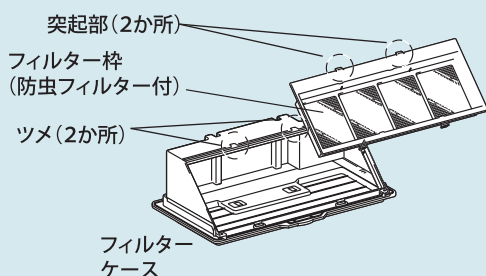
【ユニエア】

- ⚠ 警告** ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

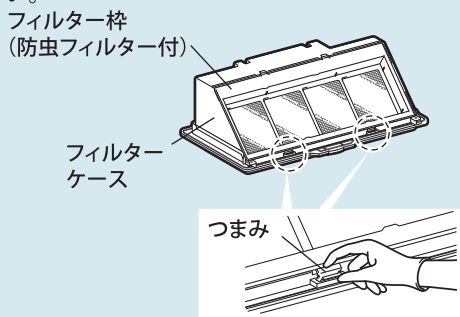
①フィルターをフィルターボックスに取付ける 組立

取りはずしと逆の順序でフィルターをフィルターボックスに取付ける。

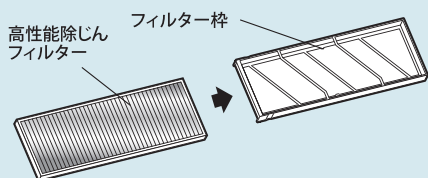
- フィルター枠（防虫フィルター付）の突起（2か所）がフィルターケースのツメ（2か所）に差し込まれているか確認してください。



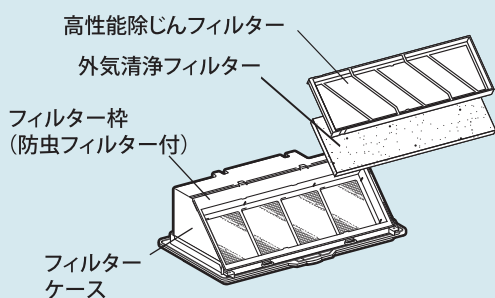
- フィルター枠（防虫フィルター付）のつまみ（2か所）をカチッと音が出るまで押し込んでください。



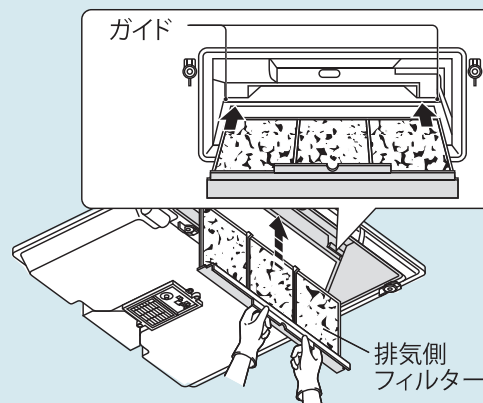
- フィルター枠に高性能除じんフィルターを取付ける。



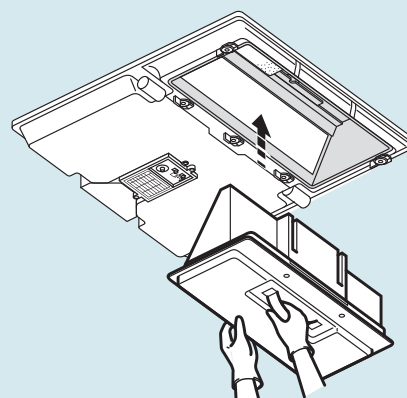
- 外気清浄フィルターとフィルター枠（高性能除じんフィルター付）を取付ける。



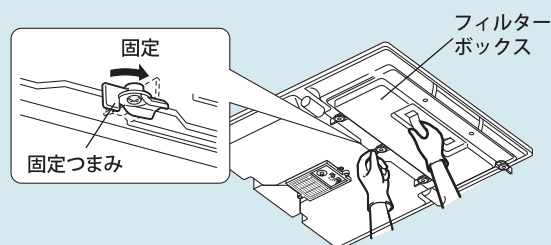
②排気側フィルターを本体に取付ける 組立



③フィルターボックスを本体に付ける 組立



- フィルターボックスの取手部周辺を押し、本体に密着させてから、固定つまみ（5か所）で固定する。



お手入れ後の組み立てと確認②

UNI AIR

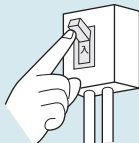
【ユニエア】

- ⚠️ 警告 ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠️ 注意 ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。

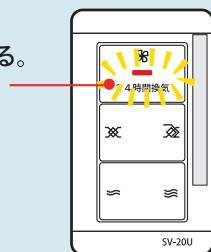
④ブレーカー・壁スイッチを「入」にする 操作

組立てが終わりましたら、次の確認をしてください。

1. ブレーカーを「入」にする。

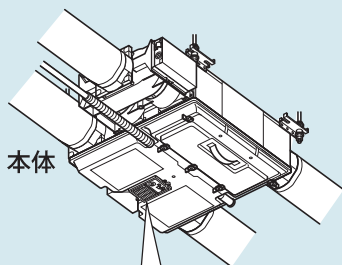


2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプが点滅します。



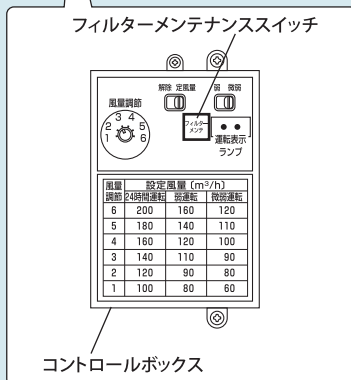
- 異常音は出ていませんか？
- 風は室内のグリルから正常に出ていますか？
- フィルターボックスの取付部から風が漏れていませんか？

⑤フィルターメンテナンススイッチを押す 操作



本体

フィルターメンテナンススイッチ



コントロールボックス

清掃終了後、本体下部にあるフィルターメンテナンススイッチを5秒以上長押しします。

⑥壁スイッチの確認 確認

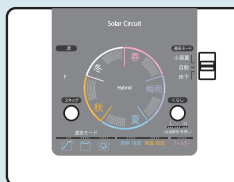
メンテナンススイッチを5秒以上長押しすると、メンテナンスお知らせサインは解除されます。

壁スイッチを「入」にする。
運転中はランプが点灯します。



- 壁スイッチのランプが「点滅」から「点灯」に変わりましたか？

⑦SCナビゲーターのフィルターランプ点滅解除 操作



点滅解除はくらしボタンを5秒以上長押し

⑧さらに上手にお使いいただくために お知らせ

- 壁スイッチのランプが「点滅」していない場合も、フィルターを清掃した際はフィルターメンテナンススイッチを5秒以上長押ししてください。これにより、換気運転積算時間をリセットします。
※換気運転積算時間については4頁「壁スイッチのランプが点滅したら」をご参照ください。
- ご使用環境により、フィルターに結露水や霧・雪の水滴が付着していることがありますが、性能・品質面での問題はございません。
- 外気清浄フィルター・高性能除じんフィルター・排気側フィルター・防虫フィルターを入れ忘れないでください。(熱交換器(エレメント)表面にごみが詰まり、風量低下の原因になります)

排気グリルのお手入れのしかた①

UNI AIR

[ユニエア]

- ⚠ 警告** ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

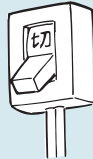
排気グリルは約 2 か月に1度を目安として清掃をお願いします。

①換気システムの壁スイッチ・ブレーカーを切る 操作

1. 壁スイッチを「切」にする。
ランプは消灯します。

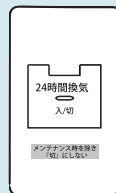


2. ブレーカーを「切」にする。



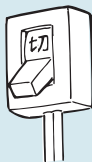
②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチ・ブレーカーを切る 操作

1. 壁スイッチを「切」にする。
ランプは消灯します。



※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

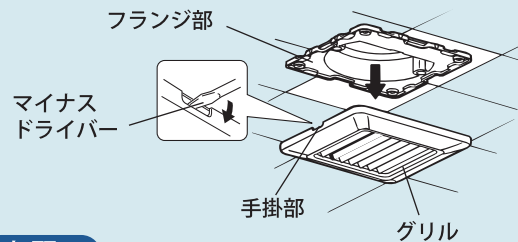
2. ブレーカーを「切」にする。



③グリルをはずします 分解

グリルやフィルターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因となります。

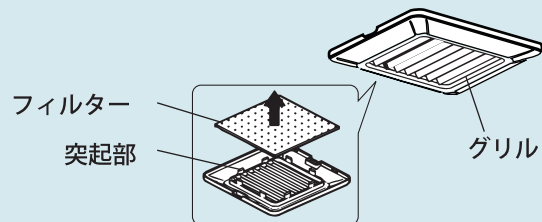
グリルの両側の手掛部を持って下へ引きながらフランジ部からはずします。グリルがはずれにくい場合はマイナスドライバーを用いてはずします。



お願い

●グリルをはずす際は、クロスなどを傷付けないように十分注意してください。

④グリルからフィルターを取り出す 分解

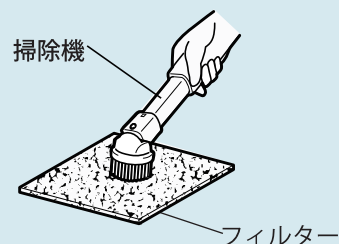


お願い

●フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。

⑤フィルターの清掃をします 清掃

軽く手でたたくかまたは掃除機でほこりを吸い取ります。



排気グリルのお手入れのしかた②

UNI AIR

[ユニエア]

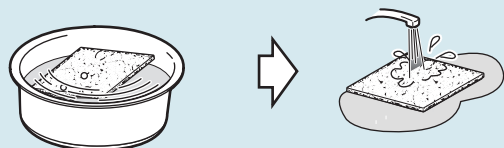
- ⚠ 警告** ●お手入れの際は必ず壁スイッチ・ブレーカーを切る。
- ⚠ 注意** ●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない。
●お手入れの際は手袋を着用する。
●お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う。

排気グリルは約 **2 か月**に**1度**を目安として清掃をお願いします。

⑥汚れがひどい場合は

清掃

汚れのひどい場合は水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かしてください。



お願い

- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 直接火気を使用して乾かしたり、ドライヤーなどで温風をあてて乾かすことはしないでください。
- お手入れには下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ溶剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等
けんま材入の洗剤（変質・変色する原因になります）

⑦グリルの汚れを清掃する

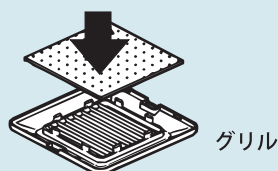
清掃

グリルの汚れは中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



⑧フィルター・グリルを元通り取付けます。

取付



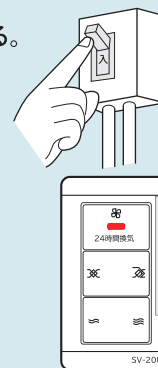
お願い

- フィルターがないと壁や天井が汚れる原因となりますので、取付けを忘れないようにしてください。

⑨換気システムの壁スイッチ・ブレーカーを入にする

操作

1. ブレーカーを「入」にする。

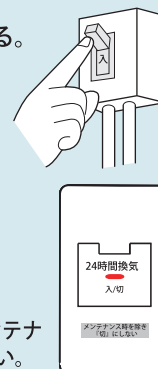


2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプが点灯します。

⑩ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチ・ブレーカーを入にする

操作

1. ブレーカーを「入」にする。



2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプは点灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

交換用排気グリル用フィルター

型名：P-05F





※初期搭載品とは材質が異なります。
(2枚/1セット)

ベース空調 清掃前の安全のために必ず守ること①

UNI AIR







【ユニエア】

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。


 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

据付時は

警告




据付けは、住宅会社に依頼する 据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。  住宅会社に相談	電源は必ずベース空調専用回路とし、かつ定格の電圧ブレーカーを使用する 専用以外の回路を使用すると、発熱・火災の原因になります。  専用回路
可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない 万一ガスが漏れて室外ユニットの周囲にたまると、爆発の原因になります。  設置禁止	アース(接地)を確実に行う アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。  アース工事
漏電しや断器を取付ける 漏電しや断器が取付けられていないと、火災・感電の原因になります。  漏電しや断器取付け	指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入替え)しない 機器の故障や破裂、ケガなどの原因になります。  禁止

注意






ドレン水を確実に排水できるようにする 排水経路に不備があると、室内外ユニットから水が滴下して家財などをぬらし、汚損の原因になることがあります。  排水	
---	--

移設・修理時は

警告





お客様自身で分解・改造・修理をしない 不備があると、火災・感電・室内ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。  禁止	移動再設置・修理する場合は、住宅会社に相談する 不備があると、感電や火災などの原因になります。  住宅会社に相談
エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、住宅会社に相談する 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容を住宅会社に確認する 冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。  住宅会社に相談	

■“図記号”の意味は次のとおりです。

 禁止	 指示を守る
 めれ手禁止	 アース線接続
 水ぬれ禁止	

ご使用時は

警告

吹出口や吸込口に指や棒などを入れない 内部で循環送風ファンは高速回転していますので、ケガの原因になります。  禁止
コード類は、束ねたり、引っ張ったり、重い物を載せたり、ネジなどで傷つけたり、加熱したり、加工したりしない 感電や発熱・火災の原因になります。  傷つけ禁止
異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止してブレーカーを切る 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災などの原因になります。住宅会社に相談してください。  ブレーカーを切る
室内ユニット内部の洗浄はお客様自身では行わず、必ず住宅会社に相談する 誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかることで故障や発煙・発火の原因になることがあります。  住宅会社に相談




ベース空調 清掃前の安全のために必ず守ること②

UNI AIR

【ユニエア】

ご使用時は

⚠️ 注意

<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない</p> <p>品質低下または動植物への害の原因になることがあります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>室外機の吸込口やアルミフィンにさわらない</p> <p>ケガの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>リモコンの乾電池の交換は2本とも新しい同種のものにする</p> <p>古い乾電池を混ぜて使用すると発熱・液漏れ・破裂の原因になることがあります。</p>  <p>同種のものに</p>
<p>ぬれた手でスイッチを操作しない</p> <p>感電の原因になることがあります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>室外機の上に乗ったり、物をのせたりしない</p> <p>落下・転倒によりケガの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>乾電池を充電・分解したり火の中に投入しない</p> <p>液漏れ・破裂・発火の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>長期使用で傷んだままの据付台などで使用しない</p> <p>ユニットの落下につながりケガなどの原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない</p> <p>ベース空調の周囲でスプレー等を使用する場合は、必ずエアコン及び循環用送風ファンを停止してください。機器の故障や火災・変形の原因になることがあります。</p>  <p>使用禁止</p>	<p>エアコンを数シーズン使用した場合は、点検整備を行う</p> <p>室内機の内部にゴミやほこりがたまって、コイが発生したり、除温水の排水経路を詰まらせ、室内機からの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。住宅会社に依頼してください。</p>  <p>点検整備</p>
<p>ペットや観葉植物に直接風をあてない</p> <p>動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し、ブレーカーを切る</p> <p>被雷すると、故障の原因になることがあります。</p>  <p>ブレーカーを切る</p>	<p>注意シールを剥がさない</p> <p>エアコン全面パネルに貼り付けられているシールはメンテナンス時に必要な情報になります。貼られたままご使用ください。</p>  <p>禁止</p>
<p>使用可能な外気温度</p> <p>本システムで使用するエアコンは、冷房除湿：21～43℃ 暖房：-25℃～24℃の気温条件下以外では使用できません。また、SV-20Uは熱交換で使用してください。</p>  <p>指示を守る</p>	<p>機械室前に荷物を置かない</p> <p>ベース空調用機械室に設けられているガラリが荷物等で塞がると故障の原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>定期的にはフィルター清掃をする</p> <p>エアコンのプラチナエアフィルターは2週間に一度清掃を行ってください。フィルターが目詰まりし、空調能力が低下します。</p>  <p>お願い</p>
<p>機械室の周辺は寝室にしない</p> <p>機械室の周辺はエアコン・循環用送風ファンの運転音が気になる場合があります。寝室は機械室から離れた場所をお選びください。</p>  <p>お願い</p>	<p>運転音に配慮を</p> <p>エアコンの室外機の吹出口からの温風や、運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。また、室外機の吹出口近くには物を置かないでください。機能低下や運転音増大のもとになります。</p>  <p>お願い</p>	<p>吹出口の風量確認を</p> <p>循環用送風ファンが停止していると24時間換気が効率的に行われない場合があります。エアコンのフィルター清掃後には吹出口の風量を確認し、循環用送風ファンも正常に運転しているか確認してください。</p>  <p>お願い</p>
<p>ダクト内を清掃しない</p> <p>断熱ダクト内は清掃不要です。薬品などを使用し清掃を行うと、ダクト内環境が悪化する恐れがあるため、清掃しないでください。</p>  <p>禁止</p>	<p>システムの構成機器の確認</p> <p>ベース空調は「SV-20U」「循環用送風ファン」「床置形エアコン」「カネカHEMS」「吹出口」「給気口」の各機器で構成されています。詳細については各機器の取扱説明書を併せてお読みください。</p>  <p>お願い</p>	

同じ部屋に三菱電機製ルームエアコンを設置する場合は

⚠️ 注意

床置形エアコンの近くに三菱電機製ルームエアコンを設置したり、リモコン受信装置の近くで三菱電機製ルームエアコンのリモコンを操作しない。
誤動作を起こす可能性があります。

ベース空調 外付けプレフィルターのお手入れのしかた①

UNI AIR

[ユニエア]

注意 ●お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
●お手入れの際は手袋を着用する。

外付けプレフィルターは約6ヶ月に1度を目安として交換をお願いします。

①ベース空調用エアコンの電源を切る 操作

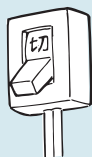
1. **切入** を押して電源を切る。



2. エアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



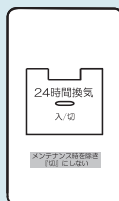
注意 ●お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



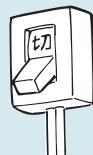
②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを切る 操作

1. 「切る」ボタンを押すと消灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。



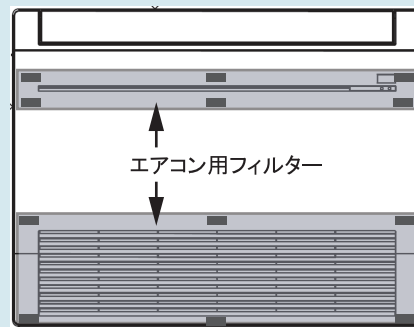
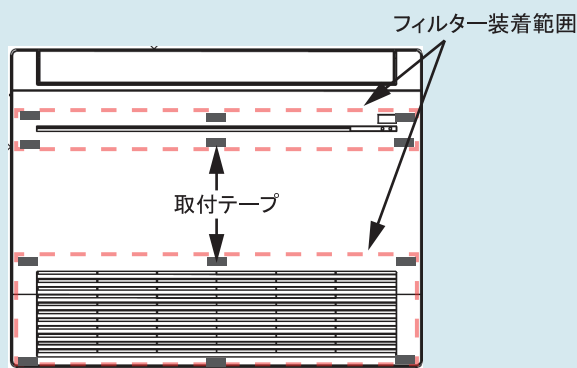
2. ブレーカーを「切」にする。



③外付けプレフィルターの交換 確認

システムを永く清潔に維持し、内部フィルター清掃やクリーニング回数を減らす対策として本フィルターの装着をお願いいたします。本フィルターの交換目安は装着後約6か月です。フィルターに汚れやホコリの付着が目立つようになってきたら、新しい物と交換してください。

1. 上下それぞれの吸込口に対し、取付テープの上からフィルターを被せ、たるみが生じないように貼付ける。



お願い

- フィルター装着作業を行うときは電源を切り、前パネルを取り外して平らな床などに置き作業してください。
- 前パネルの吸込口は必ず上下両方もフィルターを装着してください。どちらか片側に装着しない場合装着していない側からホコリ等を吸入し、フィルター効果が望めなくなります。

ベース空調 外付けプレフィルターのお手入れのしかた②

UNI AIR

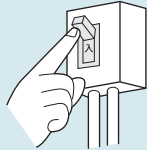
[ユニエア]

⚠️ 注意 ●お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
●お手入れの際は手袋を着用する。

外付けプレフィルターは約6ヶ月に1度を目安として交換をお願いします。

④ベース空調用エアコンの電源を入れる 操作

1. エアコン専用回路のブレーカーを「入」にする。



2. **切入**を押して電源を入れる。

※季節に合わせて、夏は冷房、冬は暖房、梅雨は除湿運転を行います。また、春・秋はエアコンを運転せず、換気を行うために循環用送風ファンのみ運転します。



エアコン外付けプレフィルター 型名：C-BPF

■梱包内容

- ・エアコン外付けプレフィルター使用のお願い
- ・エアコン用フィルター 上部用+下部用各1枚 計2組
- ・取付テープ 12箇所分
(初回装着時のみ必要となります)

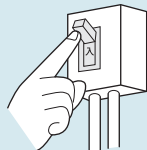
(上部用) 75cm × 7.5cm

(下部用) 75cm × 19cm



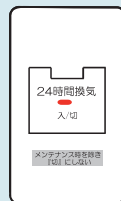
⑤ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを入れる 操作

1. ブレーカーを「入」にする。



2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプは点灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。



ベース空調 前パネルのお手入れのしかた①

UNI AIR

【ユニエア】

△注意 ●お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
●お手入れの際は手袋を着用する。

前パネルは約1年に1度を目安として清掃をお願いします。

①ベース空調用エアコンの電源を切る 操作

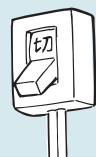
1. **切入** を押して電源を切る。



2. エアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



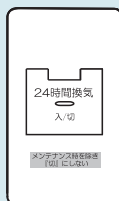
お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを切る 操作

1. 「切る」ボタンを押すと消灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

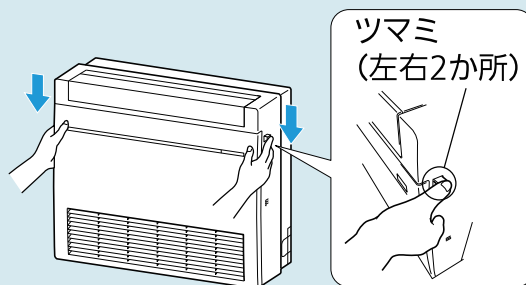


2. ブレーカーを「切」にする。

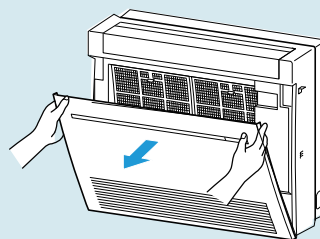


③前パネルの取りはずしかた 分解

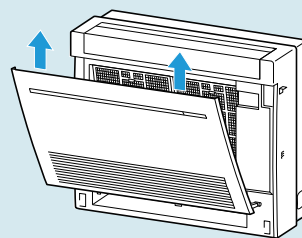
1. パネル左右側面にあるつまみを下げる。



2. 左右のつまみを下げたまま、前パネルを手前に開く。



3. 前パネルを開け、上に持ち上げて取りはずす。



ベース空調 前パネルのお手入れのしかた②

UNI AIR

【ユニエア】

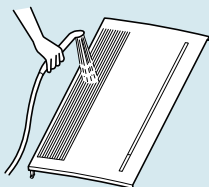
△注意

- お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
- お手入れの際は手袋を着用する。

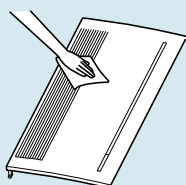
前パネルは約1年に1度を目安として清掃をお願いします。

④前パネルのお手入れのしかた 清掃

1.水洗いする。



2.やわらかい布で水分を拭き取って陰干しする。

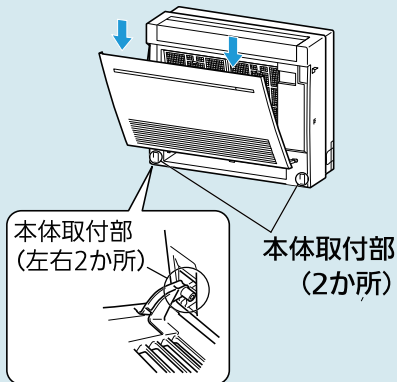


お願い

- 汚れが目立つときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を布に含ませて拭いてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・磨き粉を使用しないでください。
- たわしやスポンジなどの硬い面で洗わないでください。
- 長時間(2時間以上)お湯や水につけておかないでください。
- 直射日光やストーブなどで乾燥させないでください。変形や変色の原因になります。

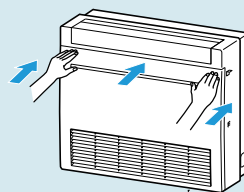
⑤前パネルの取付けかた 取付

1.前パネルを本体取付部(2か所)に挿入する。



⑤前パネルの取付けかた つづき 取付

2.前パネル上側の左右を「カチッ」と音がするまで押したあと、上側中央部を押し込んで取付ける。

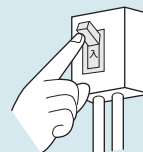


お願い

うまく閉まらない場合はもう一度前パネルを開いてからやりなおしてください。

⑥ベース空調用エアコンの電源を入れる 操作

1.エアコン専用回路のブレーカーを「入」にする。



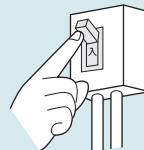
2. **切入** を押して電源を入れる。



※季節に合わせて、夏は冷房、冬は暖房、梅雨は除湿運転を行います。また、春・秋はエアコンを運転せず、換気を行うために循環用送風ファンのみ運転します。

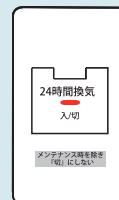
②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを入れる 操作

1.ブレーカーを「入」にする。



2.壁スイッチを「入」にする。
ランプが点灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。



ベース空調 プラチナエアフィルターのお手入れのしかた①

UNI AIR

【ユニエア】

△注意 ●お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
●お手入れの際は手袋を着用する。

プラチナエアフィルターは約2週間に1度を目安として清掃をお願いします。

①ベース空調用エアコンの電源を切る 操作

1. **切入** を押して電源を切る。

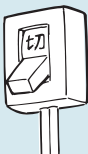


2. エアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。

△注意



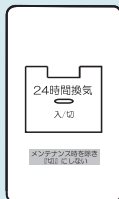
お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



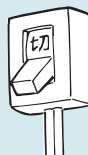
②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを切る 操作

1. 「切る」ボタンを押すと消灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

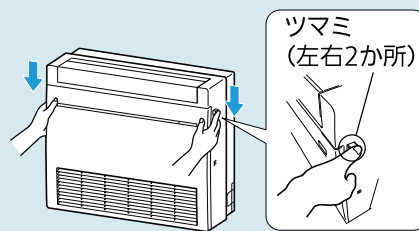


2. ブレーカーを「切」にする。

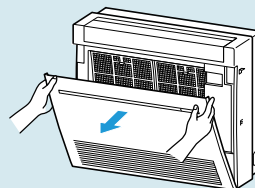


③プラチナエアフィルターの取りはずしかた 確認

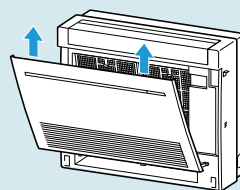
1. パネル左右側面にあるつまみを下げる。



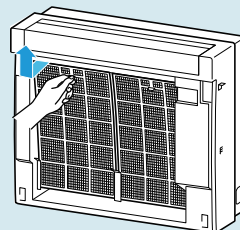
2. 左右のつまみを下げたまま、前パネルを手前に開く。



3. 前パネルを開け、上に持ち上げて取りはずす。



4. プラチナエアフィルターのつまみを持ち、少し手前に引きながら溝からプラチナエアフィルターを取りはずす (左右2枚)。



ベース空調 プラチナエアフィルターのお手入れのしかた②

UNI AIR

[ユニエア]

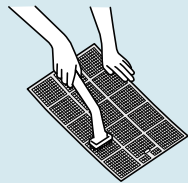


- お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
- お手入れの際は手袋を着用する。

プラチナエアフィルターは約2週間に1度を目安として清掃をお願いします。

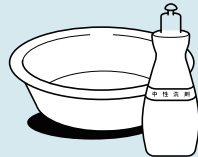
④プラチナエアフィルターのお手入れのしかた 清掃

1.取りはずしたプラチナエアフィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いをし、日陰でよく乾かす。



お願い

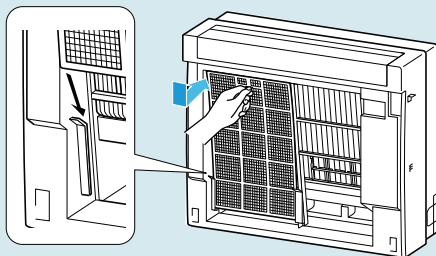
- 硬いブラシやタワシでこすらないでください。変形することがあります。
- 汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯でつけおきしたあと、水でよくすすいでください。



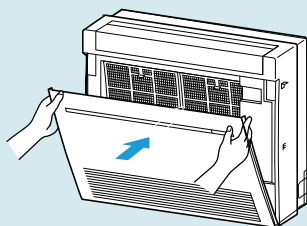
- 熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。
- 直射日光や火気を使用して乾かさなでください。

⑤プラチナエアフィルターを取付ける 取付

1.プラチナエアフィルターを溝に確実に差込む。(左右2枚)

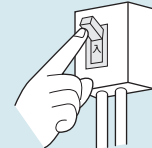


2.前パネルを閉じる。



⑥ベース空調用エアコンの電源を入れる 操作

1.エアコン専用回路のブレーカーを「入」にする。



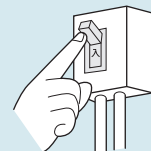
2. **切入** を押して電源を入れる。



※季節に合わせて、夏は冷房、冬は暖房、梅雨は除湿運転を行います。また、春・秋はエアコンを運転せず、換気を行うために循環用送風ファンのみ運転します。

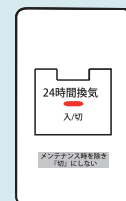
⑦ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを入れる 操作

1.ブレーカーを「入」にする。



2.壁スイッチを「入」にする。ランプが点灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。



ベース空調 熱交換器のお手入れのしかた①

UNI AIR

(ユニエア)

- ⚠️ 注意**
- お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
 - お手入れの際は手袋を着用する。

熱交換器は **1年に1** を目安として清掃をお願いします。

①ベース空調用エアコンの電源を切る 操作

1. **切入** を押して電源を切る。



2. エアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



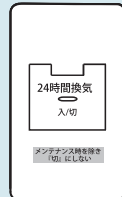
注意 お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。



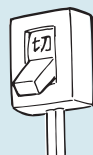
②ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチを切る 操作

1. 「切る」 ボタンを押すと消灯します。

※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

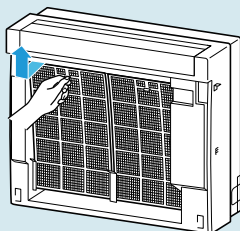


2. ブレーカーを「切」にする。



③熱交換器のお手入れのしかた 分解

1. プラチナエアフィルターのツマミを持ち、少し手前に引きながら溝からプラチナエアフィルターを取りはずす (左右2枚)。



※前パネルの取りはずし方は、
18頁ベース空調 前パネルのお手入れのしかた①
をご参照ください。

③熱交換器のお手入れのしかた つづき 清掃

2. 掃除機のブラシでほこりを吸い取る。



注意

アルミフィン

●アルミフィンに直接手を触れないでください。けがの原因になることがあります。

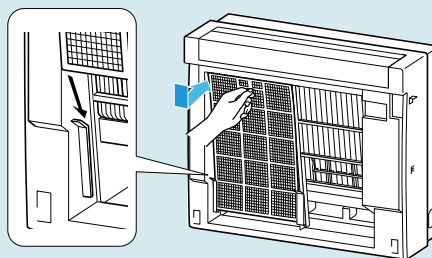
⚠️ 注意



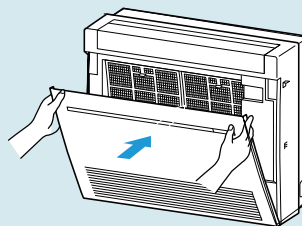
アルミフィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になることがあります。

④プラチナエアフィルターを取付ける 取付

1. プラチナエアフィルターを溝に確実に差込む。
(左右2枚)



2. 前パネルを閉じる。



ベース空調 熱交換器のお手入れのしかた②

UNI AIR

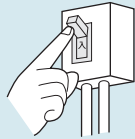
[ユニエア]

- ⚠️ 注意
- お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
 - お手入れの際は手袋を着用する。

熱交換器は **1年に1** を目安として清掃をお願いします。

⑤ベース空調用エアコンの電源を入れる 操作

1. エアコン専用回路のブレーカーを「入」にする。



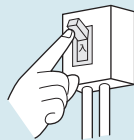
2. **切入** を押して電源を入れる。



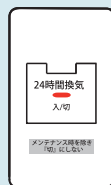
※季節に合わせて、夏は冷房、冬は暖房、梅雨は除湿運転を行います。また、春・秋はエアコンを運転せず、換気を行うために循環用送風ファンのみ運転します。

⑥ベース空調用機械室内に設置されている24時間換気スイッチをを入れる 操作

1. ブレーカーを「入」にする。



2. 壁スイッチを「入」にする。
ランプが**点灯**します。



※24時間換気を兼ねているため、メンテナンス時以外は「切」にしないでください。

ベース空調 エアコン内部のクリーニングについて

UNI AIR

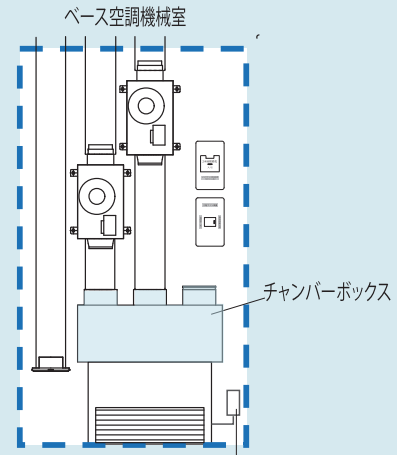
【ユニエア】

- ⚠️ 注意
- お手入れするときは、安全のためにエアコン専用回路のブレーカーを「切」にする。
 - お手入れの際は手袋を着用する。

エアコン内部のクリーニングは**数年に1度を目安**として行ってください。

お願い

- エアコン内部のクリーニングを行う為には、エアコン上部に設置されているチャンパーボックスを取りはずす必要があります。お建てになった工務店に立ち合いいただき、クリーニング作業を依頼してください。チャンパーボックスの着脱作業はクリーニング業者では行うことができません。



システム開発・資材供給

株式会社カネカソーラーサーキットのお家

- 各説明図・写真(一部)・イラストなどはイメージであり、撮影や印刷の関係で、実際とは色が異なる場合があります。
- ソーラーサーキット、アウターサーキット、インナーサーキット、SC-SVシステム、SCナビシステム、SCナビ、SCナビゲーター、外断熱・二重通気工法、Refrair〔リフレア〕、UNIAIR、カネカHEMS は株式会社カネカの登録商標です。

〒107-6028 東京都港区赤坂1丁目12番32号（アーク森ビル）
TEL 03-5574-8139 FAX 03-5574-8109

- 品質改善のため、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。
- このカタログ内容についてのご不明点は直接当社へおたずねください。

お客さまのお住まいの実際の設計、施工、メンテナンスは、当社のソーラーサーキットの実施権を受けた契約工務店が実施いたします。
詳しくは㈱カネカソーラーサーキットのお家にご相談ください。